

科目名 (科目番号)	心理学 (時間割参照)	教員名 山本 哲也	学科等	学部共通	選択	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			授業形態	講義	オフィスアワー	火・2 B325研究室	
授業概要	人は、日々の暮らしの中で、さまざまなことを感じ、認識し、考え・思い、行動している。これらの行動には、意識するしないにかかわらず常に「こころ」をが関与している。しかしながら「こころ」は目で見ることができないため、多くの謎に包まれているように感じられる。本講義では、こうした目で見ることのできない「こころ」について、その現れである「行動」に着目することで行われてきた科学的研究の積み重ねによって得られた知見について概説する。						
目的・目標	目的:心理学の知見を元に①他者理解の視点を得る、②自己理解を深める。 目標:①心理学の諸領域についての基本的な知識を修得する。②①の基本的知識をもとに自分自身について説明することができる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	心理学とは	到達目標:心理学で学習する内容を理解する。 学習内容:行動科学としての心理学の概要と医療専門職が心理学を学ぶ意義を理解する。				
	2	感覚・知覚①	到達目標:環境を認識するための入力器官である「感覚・知覚」の働きについて理解する。 学習内容:感覚の基本的な仕組み、加齢変化について学ぶ。				
	3	感覚・知覚②	到達目標:環境を認識するための入力器官である「感覚・知覚」の働きについて理解する。 学習内容:知覚の成立条件について学ぶ。				
	4	感覚・知覚③	到達目標:環境を認識するための入力器官である「感覚・知覚」の働きについて理解する。 学習内容:錯覚・知覚の体制化等について学ぶ。				
	5	認知機能①	到達目標:入力した情報を処理する「認知機能」について理解する。 学習内容:情報処理の仕組み、知能について学ぶ。				
	6	認知機能②	到達目標:入力した情報を処理する「認知機能」について理解する。 学習内容:記憶、空間認知等について学ぶ。				
	7	認知機能③	到達目標:入力した情報を処理する「認知機能」について理解する。 学習内容:記憶とアイデンティティとの関連について学ぶ。				
	8	学習	到達目標:環境との相互作用の中で形成される行動としての「学習」について理解する。 学習内容:学習に関する諸理論(古典的条件付け・道具的条件付け等)について学ぶ。				
	9	感情・情動・動機	到達目標:人を行動へと駆り立てる「感情・情動・動機」について理解する。 学習内容:感情の理論、仕組みについて学ぶ。				
	10	パーソナリティ①	到達目標:ひとそれぞれの特徴や個性を彩る「パーソナリティ」について理解する。 学習内容:パーソナリティの諸理論、自己意識・自己概念について学ぶ。				
	11	パーソナリティ②	到達目標:ひとそれぞれの特徴や個性を彩る「パーソナリティ」について理解する。 学習内容:パーソナリティの病理、アセスメント(性格検査等)について学ぶ。				
	12	発達①	到達目標:生まれてから成人するまでの「生涯発達」について理解する。 学習内容:各発達段階の特徴について学ぶ。				
	13	発達②	到達目標:成人してから死ぬまでの「生涯発達」について理解する。 学習内容:各発達段階の特徴について学ぶ。				
	14	人間関係	到達目標:人間関係に関する心理学的事項について理解する。 学習内容:人間関係形成の要因、コミュニケーション、集団について学ぶ。				
	15	まとめ	到達目標:講義全般を振り返り、自己理解を深める。 学習内容:本講義で学習した内容を振り返り、自己分析を行う。				
成績評価の方法・基準	期末試験(60%)、レポート課題(40%)で評価する(対面・オンライン共通)。						
教科書	基礎から学べる医療現場で役立つ心理学	大川一郎 他著	ミネルヴァ書房				
参考図書	必要に応じて適宜指定します。						
教員からのメッセージ	本授業はオンラインで行います。毎回の授業後に、授業の振り返りのためのレポート課題を提出してもらいます。提出された課題レポートは、コメントを付して返却します。なお、必要に応じて授業の内容を変更することがあります。大学で障害学生支援担当として勤務した公認心理師がこの授業を担当します。						